

ご あ い さ つ



平成30年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

この市政年報は、市政の概要を記録し、市政運営の成果を後世に伝えるとともに、市民の皆様との情報の共有を図るために作成しております。

平成30年度を振り返りますと、田舎暮らし専門誌の「住みたい田舎ベストランキング」において、本市は「子育て世代部門」で全国第1位、「総合部門」でも全国第2位を獲得しました。3年連続で高評価を得ましたことは、これまでの本市の子育て世代に対する取り組みや各種移住・定住施策が功を奏したものであると考えております。

また、中心市街地のにぎわいを創出し、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため、地方都市リノベーション事業として、市民の生涯学習活動や交流の場となる、「市民交流センター」の整備や文化芸術の拠点となる、「(仮称)文化芸術館」、「(仮称)文学館」の整備を進めてまいりました。これらの場所から、市民主体の多くの事業やアイデアが生まれ、栃木市の魅力として巣立っていくことを期待しております。

令和元年度は、平成22年に最初の合併を行い、新生栃木市が誕生して10年目の節目を迎える年となります。地域の均衡ある発展、将来を見据えた健全な財政運営、そして栃木市民としての一体感の醸成に十分配慮しながら、まちづくりに取り組んでまいりますので、市議会をはじめ、市民の皆様のご理解と更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月

栃木市長 大川 秀子